

議 事 録

件 名	第 4 回 登別市水道事業ビジョン検討委員会	
-----	------------------------	--

日 時	令和 7 年 11 月 6 日 (木)	自 17 : 20 ~ 至 18 : 40
-----	---------------------	-----------------------

検 討 委 員 会 内 容

1. 開会

- ・ 第 4 回 登別市水道事業ビジョン検討委員会を開会。
- ・ 吉田委員長欠席のため、福井副委員長より司会進行いただいた。

2. 議題

(1) 前回議事録の確認

- ・ 事務局より前回議事録の確認を行い、委員会より内容の了承を得た。

(2) 登別市水道事業ビジョンの原案

- ・ 登別市水道事業ビジョンの原案について、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

(委員)

- ・ 組織体制の維持について、技術の継承や新たな職員の採用などが課題として挙げられているが、特に登別市で考えている方策はあるか

(事務局)

- ・ 技術職員の募集を毎年実施しているが、なかなか採用に至らない状況である。引き続き募集や P R 活動を行っていきたいと考えている。

(委員)

- ・ ランニングコストのうちの水道メーターの検針は、市の職員が検針しているのか。何件くらい検針に回っているのか。

- ・ スマートメーターの導入について登別市はどのような考えか。

(事務局)

- ・ 検針は市の会計年度職員 3 人で実施している。約 2 万 3 千戸が対象である。
- ・ スマートメーターについては将来検討していく必要はあると考えているが、8 年に 1 度に更新が必要であり、費用面から今のところ導入は厳しいものと考えている

(委員)

- ・ スマートメーター導入のための補助金はないのか。

(事務局)

- ・ スマートメーター導入時の補助金はあるが、更新時における補助金はない。メーター更新費用と現状の検針費用を比較すると、費用面において導入が難しい状況である。

(次頁に続く)

検 討 委 員 会 内 容

(委員)

- ・8章、施策のロードマップについて、令和8~17年度の期間中のどこかでやるような記載が多いので、可能であれば優先順位や重要度が見えるロードマップだとよりわかり安いと思う。
- ・経常収支比率、料金回収率はこれまでどういった状況か。
- ・必要な料金改定時期が市民に分かるような記載をした方が良い。
経常収支比率が中期後期に100%以上となるとの記載だけでは料金改定の検討時期との関係が分かりにくいいため、財政見通しと料金改定の議論のタイミングが分かるよう、より明確な表記にした方が良いのではないか。
- ・料金回収率は、現在は何%ぐらいあるのか。

(事務局)

- ・記載の方法について検討したい。
- ・経常収支比率は過去5年100%を超えており、黒字経営が出来ている。
また、料金回収率についても過去5年100%を超えている状況である。
- ・財政の見通しでは、今後赤字となる見込みであるため、料金改定を含めた検討が必要になると思うが、内部留保資金の状況も影響してくるため、具体的な時期についての記載は難しいところである。
- ・料金回収率については、令和6年度実績で106.96%である。

(委員)

- ・水道料金は来年から値上げすることはできるのか。一度に大幅な値上げとするのか、毎年徐々に上げるのか。

(事務局)

- ・料金改定には審議会の実施が必要で、今回は1年以上前から審議会の中で、改定案の検討や住民説明会等を実施しており、それらを踏まえると来年からの改定は難しい。
- ・料金改定の手法については、今後、慎重に検討したい。

(委員)

- ・料金の徴収率は問題ないのか。
- ・料金回収率という用語が一般的に分かりづらい。

(事務局)

- ・徴収率は100%になっていないので問題ないとは言いきれないが、徴収率の向上のために、未納者への早期対応や、給水停止予告書、給水停止執行通知書の送付、給水停止の執行などの徴収対策を行っている。
- ・料金回収率などの用語には注釈を入れる等の対応をとる。

(委員)

- ・ダウンサイジングの検討について、目標の表とロードマップが統一されていないので合わせた方が良い。具体的なダウンサイジングの対象を示した方が良い。

(事務局)

- ・目標の表とロードマップを統一するように修正する。
- ・具体的なダウンサイジングの対象(管路と配水池)を示すよう修正する。なお、管路については継続して検討を行い、配水池については更新年度に合わせて検討する。

(次頁に続く)

検討委員会内容

(委員)

- ・緊急時対応の訓練は、今回の施設の被災を受けて現在も定期的に行われているか。
- ・応急給水栓は市内のどこにあるのか。
- ・今回の被災を受けて、今後応急給水拠点を整備するのか、給水車による対応になるのか。

(事務局)

- ・毎年行われている日水協開催の訓練に参加している。
- ・応急給水栓の設置箇所については、登別温泉浄水場、幌別浄水場、柏木配水池、千歳配水池に設置している。
- ・今回の豪雨により被災した施設は簡易水道事業に係るものであり、給水対象が限定的であることから、各戸への給水車による運搬給水で対応している。上水道事業については、現在、給水車で避難所等の応急給水拠点まで運び、各自で取りに来てもらう方式を想定している。また、応急給水拠点への応急給水栓の設置についても引き続き検討する。

(委員)

- ・計画期間中の令和 8 年度から令和 17 年度の収支のバランスの中で、いつ頃料金改定をしないとイケないのか。

(事務局)

- ・先ほどもお話ししましたが、財政の見通しでは、今後赤字となる見込みであるため、料金改定を含めた検討が必要になると思うが、内部留保資金の状況も影響してくるために、具体的な時期について示すのは難しいところですが、毎年度、決算数値を確認しながら、料金改定の必要性について検討してまいりたい。

(委員)

- ・学校で登別市について学ぶ機会があるが、同様に水道についても学ぶ機会はあるのか。
- ・地域の水道や土木分野の担い手確保のため、若年層が興味を持てる機会を早期から段階的に設ければ良いのかと思う。

(事務局)

- ・小学校 4 年生のときに水道について学ぶ機会があり、幌別浄水場の見学等も実施している。
- ・これまで、希望する学校や町内会に対して出前授業を実施してきたが、今後は利き水などを取り入れ、さらに水道への関心を高める工夫を行うとともに、インターンシップや施設見学を積極的に受け入れ、若い世代が水道の仕事に触れる機会を提供したいと考えている。

(委員)

- ・千歳浄水場について、室蘭市が廃止に向かう可能性はあるのか。
- ・室蘭市が千歳浄水場を廃止した場合、登別市の浄水場だけで何とかなるものなのか。

(事務局)

- ・まだ方向性が定まっていないが、室蘭市の方針によっては千歳浄水場を廃止する可能性はある。
- ・千歳浄水場が廃止の場合にその分の水をどのように確保していくかという課題があり、登別温泉浄水場と幌別浄水場から給水する案を検討したが、水利権の関係から難しい現状である。室蘭市も浄水場の更新だけでなく、送水管の更新にも相当な費用がかかることから、現在千歳浄水場の今後のあり方について検討中である。

(3) その他質疑応答

(委員)

- ・千歳浄水場は登別市側の室蘭市に配水しているのか。
- ・千歳浄水場の水は、室蘭市にとってまだ需要はあるのか。

(事務局)

- ・千歳浄水場については、登別市側だけではなく室蘭駅の方まで配水している。
- ・室蘭市の水需要をみても、今後も需要はある。

(次頁に続く)

検 討 委 員 会 内 容

(委員)

- ・施設整備のプライオリティが分かると良い。
- ・財政基盤の強化と経営の効率化の表に誤字がある。

(事務局)

- ・記載の方法について検討したい。
- ・表の誤字について修正する。

(委員)

- ・今後の予定のところで、12月の観光・経済委員会では今日までの内容を報告するのか。
- ・千歳浄水場の方針が決まらないと、今後の料金改定等の検討にも影響するのではないか。

(事務局)

- ・今日の内容をまとめて、一度委員の皆様にご確認いただいた後、最終版を観光・経済委員会へ報告する。
- ・千歳浄水場の方針については登別市としても決めきれないものである。1月～2月にパブリックコメントを実施して市民の意見を徴収した後、委員の方から提言書として千歳浄水場については提出していただければ大変有難い。

3. その他

- ・前回議事録をホームページに公表することについて委員会より了承を得た。
- ・次回委員会日時は2月を予定、17:30~19:30とする。

—以上—